

## ◎令和元年度 6月補正予算（その1）概要

### 高穂中学校増築工事に係る予算対応について

#### 1 事業概要

高穂中学校については、周辺の宅地開発に伴い年々生徒数が増加し、今後も更なる増加により教室数の不足が見込まれるため、校舎棟の増築、既存校舎棟の一部改修を行い、適正な施設規模を確保しようとするものです。



##### <主な工事内容>

- ・校舎棟の増築（RC造：3階建：約1,224㎡ 普通教室5室※、トイレ、配膳室等）
- ・既存校舎棟の一部改修（配膳室、増築棟接続部分にあたる特別教室）

※増築工事において、普通教室5室を整備しますが、既存棟において、普通教室に転用して使用している被服室を復旧するため、保有教室としては4教室の増となります。

##### <高穂中学校の生徒数の推測>

年度	1年生		2年生		3年生		特別支援		合計		保有教室	工事後の教室数
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数		
1	306	9	293	9	292	9	27	4	918	31	32	33
2	336	10	306	9	293	9	27	4	962	32	33	37
3	343	10	336	10	306	9	27	4	1,012	33	37	-
4	316	10	343	10	336	10	27	4	1,022	34	37	-
5	347	10	316	10	343	10	27	4	1,033	34	37	-
6	351	11	347	10	316	10	27	4	1,041	35	37	-
7	373	11	351	11	347	10	27	4	1,098	36	37	-
8	353	11	373	11	351	10	27	4	1,104	36	37	-

##### <今後生じる普通教室不足に対する対応について>

高穂中学校の普通教室数：32教室

- ・令和2年度以降に生じる教室不足分に対しては、新たな校舎棟の増築による4教室の増により対応します。

## 2 今回新たに補正予算を計上する理由

本工事は公立学校施設整備費国庫負担金の対象事業であり、平成30年・令和元年度国庫債務負担事業として交付決定をいただいておりますが、平成30年度に生じた2度の入札不調により、事業計画の大幅な見直しを行った結果、増築棟の完成見込みが令和2年度となり、国庫負担金の繰越を行う必要が生じました。

しかしながら、国庫負担金に関して、2か年分の事業費をまとめて国に対し繰越承認申請を行うことが認められていないため、平成30年度の事業費と令和元年度の事業費に分けて申請する必要があり、本市の予算上の対応として、先の2月議会において平成30年度に対応した事業費を令和元年度への繰越明許費として議決をいただいたところですが、令和元年度内に支出することができない事業費につきまして、本6月議会において令和2年度への繰越明許費として議決をお願いするものです。

なお、本工事では既存校舎棟の一部改修も予定しており、夏季休暇中に集中して工事を実施し、学校運営への影響を最小限に抑える必要があることから、6月議会の開会日に議決をお願いしようとするものです。

### <当初のスケジュール>

	平成30年度												令和元年度	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
解体工事		解体工事												
増築工事				校舎棟増築工事									復旧工事	
既存棟改修				既設棟改修工事										



### <変更後のスケジュール>

	平成30年度						令和元年度									令和2年度								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国負担金					繰越		繰越		R1→R2															
議会(予定)					繰越				繰越		契約													
工事				普通教室+2	図書室改修他工事 駐車場・駐輪場 整備工事					解体工事											増築工事			復旧工事
																						普通教室+1		普通教室+4

### 3 6月補正予算計上額（令和元年度から2年度への繰越明許費）

現年予算（令和元年度）

（単位：千円）

	事業費	国	市債	基金	一般財源
工事	587,992	97,567	324,300	88,000	78,125
実施設計	4,510	0	0	0	4,510
監理	19,915	0	14,200	3,000	2,715
合計	612,417	97,567	338,500	91,000	85,350



繰越明許費（令和2年度）

（単位：千円）

	事業費	国	市債	基金	一般財源
工事	370,187	97,567	218,900	53,000	720
監理	14,560	0	10,900	3,000	660
合計	384,747	97,567	229,800	56,000	1,380

（繰越限度額 384,800）



